

鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『後にいる者が先になり

先にいる者が後になる』

聖書(マタイ福音書20章16節)

牧師 河合裕志

イエスは「ぶどう園の労働者」のたとえでこんな常識外れの話をした。あるぶどう園の主人が労働者を雇うために夜明け(午前6時頃)に広場に行って1日1デナリオンの約束で人を集めてぶどう園に送る。9時頃に広場に行ってみるとまだ人がいたのでこの者達も雇い入れる。以下正午、3時、5時と次々と雇って働かせる。5時の者は日没(6時頃)まで1時間しかない。

夕方主人は監督に指示を出す。「最後に来た者から始めて最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい」。しかも全員に1デナリオン。最初に雇われた者は当然不平を主人にぶちまける。「まる一日、暑い中を辛抱して働いた私達とこの連中と同じ扱いにするとは」。この不満はよくわかる。

これに対して主人は何と言った? 「友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと1デナリオンの約束をしたではないか。わたしはこの最後の者にもあなたと同じように支払ってやりたいのだ」。ここまでがたとえ話で、そしてイエスは『このように後にいる者が先になり先にいる者が後になる』と言った。

イエスは何を言いたい? 後にいる者とは誰のこと? 先にいる者とは? いろい

ろ推測できる。一つ可能性大のことはこの事。後にいる者とは徴税人や娼婦達の事。先にいる者とはファリサイ^{びと}人や律法学者の事。徴税人等はファリサイ人等から律法を守らないくだらない連中、人間のクズのように見られていた。ファリサイ人等は自分達は律法を守る偉い人間と自負していた。徴税人等は、神よ、罪人の私を憐れんでください、と祈るばかり。ファリサイ人等は、神よ、私が徴税人のようでなくて感謝します、と祈る。

イエスは両者の観察結果、神に祝福され先に神の国に入るのは徴税人等だと明言した(マタイ21章31節)。その判定基準は、自分の弱さ、至らなさ、罪の深さを知って神の憐れみを赦しを祈り求めるかどうかにある。彼らはそうした人々。一方のファリサイ人等は自分の立派さ、働き(まる一日働いた)を誇示し、そうでない者を軽蔑してやまない人々。こういう人を神は喜ばない。イエスは嫌う。神の祝福を取り逃すことになる。

先頭集団に行く人、勝ち組の人、気をつけて。おごり高ぶり他者をバカな奴、と見下していれば確実に神によって後回しにされる。

集会案内

主日礼拝 : 日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 日曜日午後6時

子どもの教会 : 日曜日午前9時

中高青年会 : 日曜日礼拝後

お話し会、卓球 : 水曜日午後1時~7時

お祈り会 : 水曜日午前6時、午前10時、午後7時